

平成 30 年度

主要農作物奨励品種等特性表

目 次

○ 奨励品種等一覧	1
○ 主要農作物奨励品種等特性表の作成基準	2
1 水稻の部	3
2 麦の部	
(1) 大 麦	10
(2) 小 麦	11
3 大豆の部	13
4 小豆の部	15
5 あわの部	15
6 きびの部	16
7 そばの部	17
○ 奨励品種等の変遷	18

長 野 県

○奨励品種等一覧

種類	品種名	区分		種類	品種名	区分		種類	品種名	区分			
		奨励	認定			奨励	認定			奨励	認定		
水	うるち米	主食用米	きらりん	○	麦	ファイバースノウ 東山皮糯 109号 (ホワイトファイバー) ^(注2) シュンライ	○	○	小豆	中納言	○		
			ゆめしなの	○			合計						1品種
			あきたこまち	○					小計	3品種	2品種	1品種	
			ひとめぼれ	○		小麦	ハナマンテン シラネコムギ しゅんよう ユメセイキ フウセツ ゆめかおり ゆめきらり	○					○
			コシヒカリ	○					合計	2品種	2品種		
			風さやか	○								小計	
			キヌヒカリ	○					合計	10品種	3品種		
	天竜乙女	○	大豆	あやこがね すずろまん ギンレイ ナカセンナリ つぶほまれ すずほまれ	○	○	そば	しなの夏そば 蕎麦信濃1号 信州大そば 開田早生 タチアカネ 長野S8号				○	○
	新需 ^(注1)	ふくおこし							○	合計	6品種		
	酒米	しらかば錦 美山錦 ひとごこち 金紋錦 信交酒 545号 (山恵錦) ^(注2)	○ ○	○ ○	合計	6品種	2品種	4品種					
小計									14品種	8品種	6品種		
					もち米	カグヤモチ オラガモチ もちひかり モリモリモチ	○ ○ ○ ○						
合計	18品種	12品種	6品種										
小計	4品種	4品種											
合計	18品種	12品種	6品種										
合計	18品種	12品種	6品種	合計	6品種	2品種	4品種	合計	45品種	24品種	21品種		

注1：新規需要米等

注2：農林水産省による審査期間中であり、品種名は確定していない。

【奨励品種等の定義】

区分	定義
奨励品種	収量性、病害虫抵抗性、品質、食味、その他栽培上の重要な特性及び生産物の利用上の重要な特性が優秀であり、普及上特に支障となる欠点のないもの。
認定品種	(1) 収量性、病害虫抵抗性、品質、食味、その他の栽培上の重要な特性、又は生産物の利用上の重要な特性のいずれかに優れているもの。 (2) 奨励品種と同等に優秀であると認められた品種でも、農業者の経営内容及び技術水準、主要農作物の需要動向等からみて普及性が明確でないもの。

○主要農作物奨励品種等特性表の作成基準

この特性表は本県試験場における奨励品種決定調査結果に基づき作成したものである。

作物 項目	水 稻	麦 類	大豆・小豆	あわ・きび	そ ば
出 穂 期	全莖数の 40～50%が出穂した日	同 左	—	全穂の 40～50%が出穂した日	—
稈 長	最長稈の地際から穂首までの長さ	1 株又は、一定か所の最長稈の穂首までの長さ	—	地際から穂首節までの長さ	—
草 丈	—	—	—	—	地際から最頂端までの長さ
主 茎 長	—	—	子葉節又は地際から茎の成長点までの長さ	—	—
開 花 期	—	—	全株数の 40～50%が開花始めに達した日	—	—
成 熟 期	帯緑色籾歩合が 5%となった時期	小麦...穂首が黄変し 1 穂の粒が 90%以上褐変した日 大麦...ほとんどの穂及び穂首が黄変した日	全株数の内、80～90%で莢の大部分が変色し、かつ粒の大部分が品種固有の色を現わし、莢を振って音のする日	大部分の穂の下位部粒が臘の硬さに達した日	果実の約 80%が成熟に達した日(成熟とは果皮が黒褐色に変わり、胚乳がやや粉状となったとき)
穂 長	最長稈の穂首から穂先(芒を含まない)までの長さ	同 左	—	穂首節より穂の先端までの長さ(芒を含まない)	—
品 質	粒揃、粒色、光沢、心白、腹白、胴割等の総合判定	粒張り、粒揃、粒大、粒溝、粒色、光沢、障害粒程度等の総合判定	—	粒の充実度、色沢、粒揃い等の総合判定	—
食 味	食味の官能試験の結果	—	—	—	—

1 水稻の部

(1) 農業試験場原村試験地における成績

品 種 名 (両親名)	奨励及び 認定品種 編入年次 育成地	出 穂 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	穂 数 (本/㎡)	玄米収量 (kg/10a)	容積重 (g/ℓ)	玄米千粒重 (g)	外 観 品 質	食 味	倒 伏 耐 性	稈 の 細 太	葉 色	芒 の		稈 先 色	稈 色	粒 着 疎 密	耐 冷 性	いもち病 抵抗性		いもち病 抵抗性 病性型	推定 遺伝 性	特性並びに栽培上の注意	適応地帯 ()内は、東信の霧下、 中信北部、北信
															多 少	長 短					葉	穂				
きらりん 〔コシヒカリ ／ 空育143号〕	奨励平11 長野農事試	7.29	9.8	73	18.9	551	609	840	21.6	上下	上下	中	やや細	やや淡	稀	短	黄白	黄白	中	強 やや強	強	強	Pik	極早生の穂数型。食味はコシヒカリに近い。耐冷性は強～やや強であるが、冷温時には深水管理等の冷害対策を実施する。いもち病には強い方であるが適正防除に努め、多肥栽培は避ける。玄米は小粒で粒揃い良く、1.7mm篩で良質な精玄米が得られる。低暖地の早期収穫栽培にも利用でき、5月上中旬植えて8月中旬の収穫が可能である。	標高1,000m(800m) 以下の地帯	
ゆめしなの 〔コシヒカリ ／ 空育143号〕	奨励平9 長野農事試	8.4	9.17	81	17.6	444	627	833	21.9	上中	上中	やや弱	やや細	中	無	—	黄白	黄白	やや密	強	中	中	Pia Pik	早生、やや長稈、中間型。稈やや細く耐倒伏性はやや弱。玄米品質はしなののがね並に良く、食味はコシヒカリ並の極良。収量はきらりんよりやや劣る。耐冷性は強いが、冷温時には深水管理等の冷害対策を実施する。いもち病には強くないので適正防除に努める。玄米は小粒で粒揃い良く、1.7mm篩で良質な精玄米が得られる。	標高800～1,050m(700 ～1,000m)の高冷地	
(糯 米) カグヤモチ 〔中母37 ／ コチミノリ〕	奨励平3 青森農試 藤坂支場	8.4	9.14	68	17.6	477	622	817	20.9	中上	上	強	やや太	やや濃	無	—	褐	黄白	やや密	やや強	やや強	やや強	やや強	Pia	早生、短稈、偏徳重型。稈太く強稈で倒伏に強い。耐冷性はやや強であるが、冷温時には深水等の冷害対策を実施する。いもち病には強い方であるが適正防除に努める。穂数確保のため初期生育の促進をはかる。糯の中ではやや大粒で良質、多収。刈り遅れによる品質低下に注意する。	標高900m(700m) 以下の高冷地

※耕種方法：4月20日播種、ビニール折衷、中苗 5月25日30×15cm3本植、手植。

※データは、平成23年～平成29年のうち、収量最高、最低年を除く5カ年の平均値。但しカグヤモチは平成14年～平成20年。容積重は平成22年～平成28年の平均値。千粒重は1.85mmふるいで選別。

(2) 農業試験場における成績

品 種 名 (両親名)	奨励及び 認定品種 編入年次 育成地	出 穂 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	穂 数 (本/㎡)	玄米収量 (kg/10a)	容積重 (g/ℓ)	玄米千粒重 (g)	外 観 品 質	食 味	倒 伏 耐 性	稈 の 細 太	葉 色	芒 の		稈 先 色	稈 色	粒 着 疎 密	耐 冷 性	いもち病 抵抗性		いもち病 抵抗性 病性型	推定遺伝子 性抵抗子 病性型	特性並びに栽培上の注意	適応地帯 ()内は、東信の霧下、 中信北部、北信
															多 少	長 短					葉	穂				
あきたこまち 〔コシヒカリ ／ 奥羽292号〕	奨励平14 (認定平8) 秋田農試	7.28	9.7	89	18.2	477	630	835	21.8	上下	上下	中	中	中	少	短	黄白	黄白	中	中	やや弱	やや弱	Pii Pii	早生、中稈、中間型。やや多収、良質で、コシヒカリに準じる良食味。耐冷性やや弱で早生品種としては劣るので、適地を越えた高標高では栽培しない。耐冷性が弱いので低温時には深水管理等の冷害対策を必ず実施する。いもち病に弱いので、発生に注意し適期防除に努める。多肥は品質・食味を低下させるので施肥基準を守る。	標高700~850m(500~700m)の地帯	
ひとめぼれ 〔コシヒカリ ／ 初星〕	奨励平14 (認定平9) 古川農試	8.2	9.11	87	18.7	545	616	840	22.7	上下	上下	やや弱	中	中	少	短	黄白	黄白	中	強	やや弱	やや弱	Pii	中生の早、中稈、偏穂数型。外観品質は良く、コシヒカリに準ずる良食味である。耐倒伏性が劣ること、及び良質・良食味の特性を生かすため多肥栽培は避ける。いもち病には弱いので、適正防除に努める。	標高700m(500m)以下の地帯	
コシヒカリ 〔農林22号 ／ 農林1号〕	奨励昭53 福井農試	8.6	9.16	97	18.3	487	638	836	22.2	上下	上中	極弱	中	やや濃	稀	短	黄白	黄白	中	—	弱	弱	+	中生、長稈、中間型。長稈で倒伏しやすい。外観品質は良く、極良食味。耐倒伏性が極めて劣ること、及び良質・良食味の特性を生かすため多肥栽培は避ける。いもち病に弱いので、防除の徹底を図る。	標高700m(500m 北信地域は400m)以下の地帯	

※耕種方法：4月20日播種、中苗 5月20日30×15cm3本植、手植。

※データは、平成23年~平成29年のうち、収量最高、最低年を除く5ヶ年の平均値。容積重は平成22年~平成28年の平均値。千粒重は1.85mmふるいで選別。

品 種 名 (両親名)	奨励及び 認定品種 編入年次 育成地	出 穂 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	穂 数 (本/㎡)	玄米収量 (kg/10a)	容積重 (g/㍉)	玄米千粒重 (g)	外 観 品 質	食 味	倒 伏 耐 性	稈 の 細 太	葉 色	芒 の		稈 先 色	稈 色	粒 着 疎 密	耐 冷 性	いもち病 抵抗性		いもち病 抵抗性 遺伝子 病性型	推定 遺伝 子 型	特性並びに栽培上の注意	適応地帯 ()内は、東信の霧下、 中信北部、北信
															多 少	長 短					葉	穂				
風 さ や か 〔北陸178号 ／ 信交485号 (ゆめしなの)〕	奨励平28 (認定平24) 長野農事試	8.10	9.21	80	17.2	455	687	832	22.5	上下	上中	強	やや太	やや淡	無	—	黄白	黄白	密	—	やや強	強	Pii	中生の晩、短稈、中穂の中間型。高温登熟による障害粒発生を回避でき、耐倒伏性が高い。いもち病にも強い。また収量性も高く、食味も優れる品種である。	標高600m以下(北信は400m)	
キヌヒカリ 〔収2800 北陸100号 ／ ナゴユタカ〕	認定平28 (奨励平3) 北陸農試	8.9	9.18	85	17.6	460	627	836	22.7	上下	上下	強	中	やや濃	無	—	黄白	黄白	やや密	—	中	やや弱	Pii	中生の晩、短強稈、中間型。外観品質、食味ともコシヒカリ並。いもち病抵抗性はやや弱なので適期防除に努める。白葉枯病にやや弱く、穂発芽性やや易。穂数が少ないと減収する場合があるので、穂数確保に努める。良質米生産のため、多肥栽培を避ける。直播栽培に適する。	標高600m(東信の霧下は500m、北信は400m、中信北部は除く)以下の地帯	
天 竜 乙 女 〔いなひかり ／ 愛知92号 (祭り晴)〕	認定平21 長野農試	8.17	10.01	83	20.2	431	639	826	21.3	中上	上下	強	やや太	中	少	短	黄白	黄白	中	—	強	強	Pia Pii	晩生、中稈、中穂の中間型。稈はやや太く耐倒伏性が強い。玄米はやや小粒であるが、外観品質は良好である。いもち病には強いが、白葉枯病にはやや弱い。良食味米生産のために多肥栽培は避ける。	南信地方の標高600m(北信は400m)以下の地帯。	
(新規需要米等) ふくおこし 〔ほそおもて ／ ふくひびき〕	認定平23 長野農事試	8.2	9.11	82	19.9	459	760	827	22.8	—	—	強	中	中	稀	短	黄白	黄白	やや密	やや弱	極強	強	Pia Pii Pik	中生の早の熟期で耐倒伏が強く、いもち病に強い。耐倒伏性が強いので、直播栽培が可能。米粉・醸造用(掛け米)としての利用が可能。炊飯の食味は「並」で食用に供することができる。玄米品質はやや大粒のほか被害粒はなく一般主食用うるちとの識別性はない。	標高700m以下の地帯	

※耕種方法：4月20日播種、中苗 5月20日 30x15cm3本植、手植。

※データは、平成23年～平成29年のうち収量最高、最低年を除く5ヶ年の平均値。但しキヌヒカリは平成21年～平成27年。容積重は平成22年～平成28年の平均値。千粒重は1.85mmふるいで選別。

品 種 名 (両親名)	奨励及び 認定品種 編入年次 育成地	出 穂 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	穂 数 (本/㎡)	玄米収量 (kg/10a)	容積重 (g/㍓)	玄米千粒重 (g)	外 観 品 質	食 味	倒 伏 耐 性	稈 の 細 太	葉 色	芒 の		稈 先 色	稈 色	粒 着 疎 密	耐 冷 性	いもち病 抵抗性		いもち病 抵抗性 遺伝子 型	推定遺 伝子 型	特性並びに栽培上の注意	適応地帯 ()内は、東信の霧下、 中信北部、北信
															多 少	長 短					葉	穂				
(酒米) しらかば錦 〔レイメイの γ線突然変異〕	認定 昭58 長野農事試	7.27	9.3	81	20.6	404	586	817	24.7	中上	—	中	やや太	やや濃	稀	短	黄白	黄白	疎	中	(弱)	(弱)	Pia Pita ²	早生、中稈、長穂の穂重型。葉幅はやや広く、垂れ気味となる。稈はやや太く剛いが、耐倒伏性は中程度である。粒着は疎である。玄米はやや長い大粒で、心白発現率が高く、酒造用に好適。耐冷性は中。穂数を早期に確保し、適期刈取に留意する。米選機は2.0mmを使用する。	標高700~850m(700m以下)の地帯	
(酒米) 美 山 錦 〔たかね錦の γ線突然変異〕	奨励 昭53 長野農事試	7.28	9.7	102	20.6	408	578	823	22.5	中上	—	やや弱	やや太	やや濃	無	—	黄白	黄白	やや密	やや強	やや弱	やや弱	Pia Pii	中生の早、長稈、穂重型。稈は太いが長稈のため倒伏しやすい。いもち病抵抗性はやや弱い。出穂前後の曇天、低温、強風などで褐変粒が出やすい。米選機は2.0mmを使用する。大粒で心白の発現率が高く、酒造好適米として適する。穂肥は出穂前20日(幼穂長5~10mm期)を目標に1回施用とする。	標高700m(600m)以下の地帯	
(酒米) ひとごち 〔白妙錦 / 信交444号〕	奨励 平10 長野農事試	8.1	9.10	86	20.0	425	664	819	27.1	上下	—	中	中	中	微	短	黄白	黄白	中	強 やや強	中	中	Pia Pii	中生の早、中稈、偏穂重型。大粒で心白発現率が高く、極良質の酒造好適米。美山錦より倒伏に強いが、多肥栽培を避ける。高品質米生産のため、追肥は出穂前20~15日の1回とする。適期収穫を行い2.0mmの米選機で調製し、特上・特級規格米とする。耐冷性は美山錦よりやや強いが、低温時には深水管理等の冷害対策を実施する。	標高700m以下(600m)の地帯	
(酒米) 金 紋 錦 〔たかね錦 / 山田錦〕	認定 昭39 長野農事試	8.1	9.9	87	21.8	482	592	815	25.2	上下	—	弱	中	中	稀	短	黄白	黄白	疎	—	弱	やや弱	Pia	中生、中稈、中間型。稈は柔らかく、倒伏しやすい。いもち病・白葉枯病に弱い。粒着は疎で、やや脱粒性がある。大粒で心白発現率が高く、酒造用として好適。米選機は2.0mmを使用する。	標高500m以下の地帯	

※耕種方法：4月20日播種、中苗 5月20日 30x15cm3本植、手植。

※データは、しらかば錦は平成11年~平成17年の平均値、金紋錦は平成23年~平成28年の平均値、美山錦、ひとごちは平成22年~平成28年のうち収量最高、最低年を除く5ヶ年の平均値。容積重は平成22年~平成28年の平均値。千粒重は1.85mmふるいで選別。

※いもち病抵抗性欄()はいもち病菌系の変化により抵抗性が大きく変化することを示す。

品 種 名 (両親名)	奨励及び 認定品種 編入年次 育成地	出 穂 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	穂 数 (本/㎡)	玄米収量 (kg/10a)	容積重 (g/ℓ)	玄米千粒重 (g)	外 観 品 質	食 味	倒 伏 耐 性	稈 の 細 太	葉 色	芒 の		稈 先 色	稈 色	粒 着 疎 密	耐 冷 性	いもち病 抵抗性		いもち病 抵抗性 病性型	推定遺伝子 型	特性並びに栽培上の注意	適応地帯 ()内は、東信の霧下、 中信北部、北信
															多 少	長 短					葉	穂				
(酒米) 信交酒 545 号 (山恵錦) 〔信交509号 /山形酒86号〕	奨励平29 長野農試	7.31	9.9	89	19.3	486	615	815	23.7	中上	—	微	中	中	中	中	黄白	黄白	やや疎	極強	極強	極強	極強	Pia Pik	中生の早、中稈、稈はやや剛く、耐倒伏性は極強である。粒着はやや疎である。玄米はやや大粒で、心白発現率が高く、とう精時の碎粒発生が少なく、酒造用に好適。耐冷性は極強。米選機は2.0mmを使用する。	標高800m以下 (700m)の地帯
(糯米) オラガモチ 〔ヒデコモチ /アネコモチ〕	奨励平13 古川農試	7.26	9.2	86	20.2	352	530	814	21.6	中上	上	やや強	やや太	やや濃	無	—	赤褐	黄白	やや密	強 やや強	やや強	強	Pii Pii Pik	早生、やや長稈、やや長穂の穂重型。耐倒伏性はやや強。いもち病に強く、耐冷性に優れる。糯品種の中では穂発芽耐性がある。餅質はもちひかり並で良い。餅の硬化性は、もちひかりより遅く、柔らかさを維持するタイプである。	標高700~900m(600 ~800m)の地帯	
(糯米) もちひかり 〔みずずもち /トドロキワセ〕	奨励昭60 長野農事試	7.30	9.3	82	18.1	508	591	822	19.6	上下	上	やや強	中	中	無	—	赤	黄白	中	強	中	やや弱	Pii	中生の早、中稈、中穂の偏穂数型。いもち病はやや弱である。耐冷性は強い。登熟が良好で品質は良い。餅の硬化性は早い。強稈・多収だが、基肥が不足すると穂数減により、収量が低下するので注意する。	標高800m(700m) 以下の地帯	

※耕種方法：4月20日播種、中苗 5月20日 30×15cm3本植、手植。

※データは、信交酒545号(山恵錦)は、平成23年~29年、オラガモチは平成11年~17年のうち収量最高、最低年を除く5ヶ年の平均値、もちひかりは平成16年~平成24年のうち平成20,21年を除く6ヶ年の平均値。千粒重は1.85mmふるいで選別。

(3) 南信農業試験場における成績

品 種 名 (両親名)	奨励及び 認定品種 編入年次 育成地	出 穂 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	穂 数 (本/㎡)	玄米収量 (kg/10a)	容積重 (g/粒)	玄米千粒重 (g)	外 観 品 質	食 味	倒 伏 耐 性	稈 の 細 太	葉 色	芒 の		稈 先 色	稈 色	粒 着 疎 密	耐 冷 性	いもち病 抵抗性		いもち病 抵抗性 病性型	推 定 遺 伝 子 型	特性並びに栽培上の注意	適応地帯 ()内は、東信の霧下、 中信北部、北信
															多 少	長 短					葉	穂				
(糯米) モリモリモチ 〔モチミノリ ／ もちひかり〕	奨励 平12 長野 南信農試	8.10	9.28	80	21.7	367	717	815	22.1	上下	上下	強	やや太	中	無	—	赤	黄白	中	—	やや弱	やや弱	+	晩生の早の糯、中稈、中間型。葉はやや立ち草型良い。稈はやや太く、倒伏に強い。穂長長く、粒着密度は中。いもち病抵抗性はやや弱いので適期防除に努める。白葉枯病には中～やや弱である。玄米はモチミノリより白く外観品質は良い。餅質は良く、大福・おこわ等に適する。良質米生産のため多肥栽培は避ける。	木曾郡を含む南信地方の標高 600m(北信は400m)以下の地帯	

※耕種方法：4月19日播種 中苗 5月20日 30x15cm 3本植 手植。

※データは、平成11年～平成17年のうち収量最高、最低年を除く5ケ年の平均値。千粒重は1.85mmふるいで選別。

<参考>

農業試験場における成績

品 種 名 (両親名)	普及に 移した 年次 育成地	出 穂 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	穂 数 (本/㎡)	玄米収量 (kg/10a)	容積重 (g/粒)	玄米千粒重 (g)	外 観 品 質	食 味	倒 伏 耐 性	稈 の 細 太	葉 色	芒 の		稈 先 色	稈 色	粒 着 疎 密	耐 冷 性	いもち病 抵抗性		いもち病 抵抗性 病性型	推定遺伝子 型	特性並びに栽培上の注意	適応地帯 ()内は、東信の霧下、 中信北部、北信
															多 少	長 短					葉	穂				
(低アミノ米) ねばりごし 〔21-36 ドシカのツ線突然 変異の遺伝子座 キヌヒカリ〕	平10 長野農事試	8.10	9.20	82	16.6	508	605	825	18.7	中上	—	やや強	中	中	無	—	黄白	黄白	やや密	—	やや弱	やや強	Pii	中生の晩、アミロース含量が5~6%と低く、炊飯米は粘りが強い。同一ほ場で栽培し、混種を防止する。いもち病には強くないので、適期防除に努める。粘りの弱い粳米や古米と混合することにより、食味の向上が図られる。	標高600m(、東信の霧下は500m、中信北部は除く、北信は400m)以下の地帯	
(紫黒糯) しなの深紅 〔カグヤモチ 東北糯149号〕	平10 長野農事試	8.7	9.18	89	20.5	374	459	808	22.1	—	—	中	やや太	緑紫	少	短	紫	淡紫	やや疎	やや強	やや弱	やや強	Pia	中生、脱粒性難の紫黒糯。葉緑部・葉鞘等が紫色を呈する。耐倒伏性は中。一般米に混米すると規格外となるので、同一ほ場で栽培し、混種を防止する。多肥栽培を避け、いもち病の適期防除に努める。果皮部の赤紫色素を利用して、赤飯、餅などの材料に用いる。	標高700m(600m)以下の地帯	
(飼料イネ) 信交507号 〔ほそおもて ふくひびき〕	平17 長野農事試	8.4	9.11	93	20.7	486	898	827	23.4	—	—	強	中	中	稀	短	黄白	黄白	やや密	やや弱	極強	強	Pia Pii Pik	中生の早の飼料イネ品種。いもち病の発生はみられないが、菌系の変動に注意する。収穫は出穂30日前後の黄熟期に行い、ホールクローブサイレージとして利用する。耐倒伏性に優れるが、極端な多肥栽培は避ける。	標高1000m(800m)以下の地帯	
(紫黒糯) たかね紫 〔カグヤモチ 東北糯149号〕	平19 長野農事試	7.26 8.4	9.1 9.21	79 75	20.1 19.0	434 384	414 478	—	21.2 20.2	—	—	強	中	緑紫	無	—	紫	淡紫	中	強	強	強	Pia Pii	早生、脱粒性難の紫黒糯。葉緑部・葉鞘等が紫色を呈する。耐倒伏性は強。一般米に混米すると規格外となるので、同一ほ場で栽培し、混種を防止する。多肥栽培を避け、いもち病の適期防除に努める。果皮部の赤紫色素を利用して、赤飯、餅などの材料に用いる。	標高900m以下の地帯	

※普及に移した年次：普及に移す農業技術として採用された年次。

※耕種方法：4月20日播種、中苗 5月20日 30x15cm3本植、手植。

※データは、平成11年~平成17年のうち収量最高、最低年を除く5ヶ年の平均値。ただし出穂期~玄米収量は、信交507は号平均20年~平成23年、その他は平成14年~平成17年の平均値。たかね紫は平成12年及び17年の2ヶ年平均値で、下段は原村試験地における成績(平成12、13、17、18年の4ヶ年平均)。千粒重は1.85mmふるいで選別。

2 麦の部

(1) 大麦 農業試験場における成績

品 種 名 (両親名)	奨励及び 認定品種 編入年次 育成地	出 穂 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	穂 数 (本/㎡)	子 実 収 量 (kg/10a)	容 積 重 (g/トリス)	千 粒 重 (g)	品 質	耐 倒 伏 性	株 の 開 閉	穂 の 型	芒 の		播 性 程 度	耐 寒 性	耐 雪 性	斑 葉 病	う ど ん こ 病	穂 発 芽 性	特性並びに栽培上の注意	適応地帯
														多 少	長 短								
ファイバースノウ 〔シュンライ ／ 東山皮86号〕	奨励 平13 長野農事試	5.3	6.9	92	5.0	527	735	696	38.7	中中	強	中	6条	多	長	IV	強	極強	—	中	易	やや早生、やや長稈。稈はやや剛で倒伏に強い。穂長はやや長く、穂数はやや少ない。大粒で外観品質が良く、多収である。精麦加工適性に優れる。耐寒、耐雪性に優れる。せき薄地など条件により空洞粒発生のおそれがあるので、止葉展開期の追肥を実施するなど、肥培管理を適正に行う。初期生育を確保するため適期播種に努め、十分な穂数を確保するために越冬後の追肥を行う。	県下全域
東山皮糯 109号 (ホワイトファイバー) 〔東山系糯437 ／ 東山皮96号 (ファイバースノウ)〕	奨励 平28 長野農事試	5.2	6.9	89	5.0	477	689	695	36.5	中中	強	中	6条	多	長	I	やや強	強	—	やや強	中	やや早生、中稈で強稈。穂長はやや長く、穂数は少ない。糯性で精麦加工適性に優れる。うどんこ病抵抗性はやや強。秋播性程度が低いので極端な早播きは避ける。十分な穂数を確保するために越冬後の追肥を行い、千粒重確保のため止葉展開期の追肥を実施するなど肥培管理を適正に行う。	積雪地を除く標高800m以下の地帯
シュンライ 〔ミノリムギ ／ 東山皮68号〕	認定 平28 (奨励 平2) 長野農事試	5.2	6.9	85	5.0	509	686	704	38.2	中下	強	中	6条	多	長	I	やや強	やや強	—	中	易	やや早生、中稈で強稈。穂長はやや長く穂数中位。大粒で外観品質は良く、多収である。精麦加工適性に優れる。うどんこ病抵抗性は中、斑葉病に強い。秋播性程度が低いので極端な早播きは避ける。せき薄地など条件により空洞粒発生のおそれがあるので、止葉展開期の追肥を実施するなど、肥培管理を適正に行う。	積雪地を除く標高800m以下の地帯

※耕種方法：播種期 10月24日～11月5日。播種量はファイバースノウ7kg/10aを基準とし、千粒重により増減。ドリル播栽培。

※データは、平成22年～平成28年度(播種年度)のうち収量最高、最低年を除く5ヶ年の平均値。

(2) 小麦 農業試験場における成績

品 種 名 (両親名)	奨励及び 認定品種 編入年次 育成地	出 穂 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	穂 数 (本/m ²)	子 実 収 量 (kg/10a)	容 積 重 (g/トリス)	千 粒 重 (g)	品 質	耐 倒 伏 性	株 の 開 閉	穂 型	芒 の		播 性 程 度	耐 寒 性	耐 雪 性	斑 葉 病	う ど ん こ 病	穂 発 芽 性	特性並びに栽培上の注意	適応地帯
														多 少	長 短								
ハナマンテン [KS831957 / 西海179号]	認定平18 長野農事試	5.3	6.16	74	9.0	655	662	808	40.3	中中	中	やや閉	紡錘状	やや少	やや長	II	中	やや弱	—	中	難	早生、中稈でやや強稈。耐寒性は中、耐雪性はやや弱で穂発芽性は難。中華麵用の硬質小麦。穂数は多く、多収。高蛋白質で中華麵加工適性の良い小麦を生産するため、茎立期と止葉展開期以降にそれぞれ追肥を実施する。	積雪地を除く標高700m以下の地帯
シラネコムギ [北陸49号 / 東海80号]	奨励昭62 長野農事試	5.8	6.20	84	8.4	505	658	805	41.5	中中	強	やや閉	紡錘状	中	中	IV	強	中	中	やや強	中	中生、中稈、強稈で草姿は良い。穂数は中位で、多収。耐寒性が強く耐雪性は中である。粉の色は白く良質で、製麵適性が良い。密播、多肥栽培に適するが、せき薄地・少肥条件下では収量性が十分発揮されない場合がある。穂発芽性は中なので、適期収穫を行う。	積雪地を除く標高900m以下の地帯
しゅんよう [東北148号 / 東山10号]	認定平6 長野農事試	5.09	6.21	79	9.4	631	633	799	39.5	中中	強	やや閉	紡錘状	中	中	IV	強	中	—	中	難	中生、中稈で強稈。穂長が長く、穂数が多く多収。耐寒性が強く、耐雪性は中。穂発芽性は難。極良質で粉は黄色味が強く、製麵適性が良い。多肥栽培に向く。蛋白質含量が低いので、止葉展開期に追肥を実施する。	積雪地を除く標高900m以下の地帯
ユメセイキ [関東107号 / 東山24号]	認定平13 長野農事試	5.10	6.20	81	9.2	455	672	801	39.8	中中	強	やや開	紡錘状	やや少	中	IV	強	やや弱	—	やや強	難	低アミロース系統。中生、中稈で強稈。穂数は少なく、穂長はやや長く多収。耐寒性強いが、耐雪性はやや弱い。穂発芽性は難。良質で粉の色は白く、製麵適性が良い。ゆでうどんのもちもちした食感が特徴的である。越冬性が十分ではないので、適応標高を越えて栽培しない。	積雪地を除く標高700m以下の地帯

※耕種方法：播種期10月24日～11月5日。播種量はシラネコムギ7kg/10aを基準とし、千粒重により増減。ドリル播栽培。

※データは、平成22年～平成28年度（播種年度）のうち収量最高、最低年を除く5ヶ年の平均値。

品 種 名 (両親名)	奨励及び 認定品種 編入年次 育成地	出 穂 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	穂 数 (本/㎡)	子 実 収 量 (kg/10a)	容 積 重 (g/トリス)	千 粒 重 (g)	品 質	耐 倒 伏 性	株 の 開 閉	穂 の 型	芒 の		播 性 程 度	耐 寒 性	耐 雪 性	斑 葉 病	う ど ん こ 病	穂 発 芽 性	特性並びに栽培上の注意	適応地帯
														多 少	長 短								
フウセツ 〔東山23号 ／ 東山24号〕	認定平14 長野農事試	5.9	6.21	79	9.0	548	750	800	39.8	中上	強	中	紡錘状	中	中	IV	強	強	—	中	難	中生、短稈で強稈。穂数はやや少なく、穂長はやや長い。耐倒伏性が強く、穂発芽は難。耐寒、耐雪性が特に優れる。粉は極良質で、明るい黄色味があり、製麺適性は良い。蛋白質含量が低いので、止葉展開期に追肥を実施する。	県下全域（高冷地及び多積雪地帯）
ゆめかおり 〔西海180号 (シノカサ) ／ KS831957〕	認定平22 長野農事試	5.6	6.16	89	7.0	705	606	819	43.9	中中	強	やや閉	紡錘状	やや少	中	II	中	弱	強	やや強	やや難	早生、やや長稈で穂数は多いが穂長が短く、耐倒伏性は強い。大粒で千粒重も大きい。耐寒性は中、耐雪性は弱い。穂発芽性はやや難。蛋白質含量はやや高く、強力粉の特性を持ち、製パン適性に優れる。高蛋白で製パン性の高い良質な小麦を生産するため、止葉展開期以降に追肥を実施する。	積雪地を除く標高700m以下の地帯
ゆめきらり 〔アブクサ ／ ネカシ ／ 東山30号 (キヌメ)〕	認定平25 長野農事試	5.6	6.16	87	8.8	544	668	802	42.3	中中	やや強	やや閉	紡錘状	やや少	やや短	IV	やや強	中	—	中	やや難	早生、中稈で穂数は多く、穂長は長く多収である。耐寒性はやや強、耐雪性は中、コムギ萎萎縮病、コムギ萎縮病抵抗性が優れ、穂発芽性はやや難である。製粉性に優れ、粉の色は明るい白色である。適正な蛋白質含量確保のため止葉展開期に追肥を実施する。	積雪地を除く標高700m以下の地帯

※耕種方法：播種期10月24日～11月5日。播種量はシラネコムギ7kg/10aを基準とし、千粒重により増減。ドリル播栽培。

※データは、平成22年～平成28年度（播種年度）のうち収量最高、最低年を除く5ヶ年の平均値。

3 大豆の部

野菜花き試験場（旧中信農業試験場）における成績

品 種 名 (両 親 名)	奨励及び 認定品種 編入年次 育成地	開 花 期 (月 日)	成 熟 期 (月 日)	主 茎 長 (cm)	10a 当 子 実 重 量 (g)	百 粒 重 (g)	タン パ ク 含 量 (%)	品 質	耐 倒 伏 性	花 色	粒 形	種 皮 色	臍 色	紫 斑 病 (粒) 抗 性	う ど ん 抗 こ 病 性	ダン イ チ ユ ウ シ ウ ス ト 抵 抗 性	特性並びに栽培上の注意	適 応 地 帯
あやこがね [ホウレイ /エンレイ]	認定 平16 長野中信農試	7.27	10.6	65	391	35.0	45.3	下	強	紫	球	黄	黄	強	強	弱	早生。草丈は中程度で倒伏に強い。大粒でタンパク質含有率が高く、豆腐加工適性に優れる。煮豆・味噌にも適する。分枝および着莢位置がやや低い。黒根腐病に比較的弱い。やや裂莢しやすいので、適期収穫に努める。	高冷地（標播） 中山間地（標播・晩播） 低暖地（晩播） 低暖地の積雪地域（標播）
すずろまん [納豆小粒 /東山系U45]	認定 平19 長野中信農試	8.3	10.11	76	371	11.6	41.1	下	中	紫	球	黄	黄	強	強	弱	中生。納豆用の小粒品種。草丈はやや長く、やや倒伏しやすい。播種重量は普通品種の半分程度とする。茎腐病に弱いため常発地では作付けを避ける。べと病に弱いため常発地では発病を促進する晩播を避ける。	中山間地（標播・晩播） 低暖地（標播・晩播） 低暖地の積雪地域（標播）
すずほまれ [東山179号 /東山系U24]	奨励 平28 (認定 平24) 長野野菜花き試	7.28	10.17	72	398	36.9	45.3	上	強	紫	球	黄	黄	強	強	弱	中生。長葉で草丈は中程度で倒伏に強い。大粒で障害粒が少なく、高タンパク質で豆腐加工適性に優れる。味噌にも適する。黒根腐病に比較的弱い。青立ちしやすいので、早播きや疎植を避ける。	中山間地（標播・晩播） 低暖地（標播・晩播） 低暖地の積雪地域（標播）
ギンレイ [東山系N802 /スズユタカ]	奨励 平7 長野中信農試	8.1	10.18	75	388	34.8	42.0	下	強	紫	球	黄白	黄	強	弱	弱	晩生。草丈はナカセンナリよりやや短く、倒伏に強い。やや大粒、低タンパク質、高糖で豆腐の食味に優れる。蒸煮大豆がやや硬い。立枯生病害に比較的強い。ラッカセイわい化ウイルスに抵抗性がある。	中山間地（標播・晩播） 低暖地（標播・晩播）
ナカセンナリ [ほうじゃく /ネマシラズ]	認定 平7 (奨励 昭53) 長野農総試 中信地方試	8.2	10.19	79	394	31.4	42.6	下	中	紫	球	黄白	黄	強	弱	強	晩生。草丈は長くやや倒伏しやすい。中粒。蒸煮大豆が軟らかい。ダイズストセンチウにやや強く、立枯生病害に比較的強い。センチウ発生地では多肥密植とする。晩播でも生育量を確保しやすい。	中山間地（標播・晩播） 低暖地（標播・晩播）
つぶほまれ [東山140号 /タチナガハ]	認定 平15 長野中信農試	7.30	10.25	76	370	45.4	42.9	上	強	紫	楕円	黄	黄	強	強	弱	晩生。草丈は長い倒伏に強く、着莢位置が高い。極大粒で食味に優れ、煮豆のほか豆腐、味噌等に適する。干ばつに比較的弱い。	中山間地（標播） 低暖地（標播・晩播）

※耕種方法：播種基準日6月1日。栽植密度：畦幅75cm、株間14.8～16.7cm、1株1本立、800～900本/a。

※データは、平成14年～27年（すずほまれば平成19年～27年）のうち異常気象等による生育不良年を除いた平均値。

<参考：有色大豆>

野菜花き試験場（旧中信農業試験場）における成績

品 種 名 (両 親 名)	普及に移した 年次 育成地	開 花 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	主 茎 長 (cm)	10a 当 子 実 重 量 (kg)	百 粒 重 (g)	タン パ ク 含 量 (%)	品 質	耐 倒 伏 性	花 色	毛 茸 色	粒 形	種 皮 色	臍 色	う 抵 ど ん 抗 こ 病 性	ダン イ ブ シ ウ ス 抵 抗 性	特性並びに栽培上の注意	適応地帯
玉 大 黒 〔丹波黒 ／ 東山140号〕	平9 長野中信農試	7.25	10.1	76	331	50.0	43.6	上 下	中	白	褐	球	黒	黒	強	弱	黒豆。極大粒で光沢が弱く、粒張りが優れる。早生だが長茎でやや倒伏しやすい。登熟時の高温干ばつで粒の側面が凹みやすいので、干ばつ常発地では登熟期に灌水を行うか、晩播で干ばつを回避する。	高冷地（標播） 中山間地（標播・晩播） 低暖地（晩播） 低暖地の積雪地域（標播）
華 大 黒 〔信濃早生黒 ／ 玉大黒〕	平22 長野野菜花き試	7.26	10.6	68	308	44.3	43.3	上 下	強	白	褐	扁球	黒	黒	強	弱	黒豆。極大粒で光沢が弱く、やや扁平だがしわ粒が少ない。早生、中茎で分枝が閉じ、倒伏が少ない。枝豆の香りが強い。裂莢しやすいので、成熟後は直ちに収穫するか、早播きを避ける。	高冷地（標播） 中山間地（標播・晩播） 低暖地（晩播） 低暖地の積雪地域（標播）
信 濃 黒 〔黒長品11 ／ 東山50号〕	昭53 長野農総試 中信地方試	7.30	10.17	70	308	47.3	43.4	上 下	中	白	褐	球	黒	黒	強	弱	黒豆。極大粒で光沢が強い。晩生、中茎で分枝が開張し、倒伏しやすい。べと病に弱いので、常発地では遅播きを避ける。モザイク病にやや弱いので健全種子を使用し、常発地では開花期までアブラムシを防除する。	中山間地（標播） 低暖地（標播）
あやみどり 〔東山系T751 ／ 東山179号〕	平20 長野中信農試	8.3	10.19	78	328	39.1	41.5	上 下	強	紫	白	扁球	緑	緑	強	弱	青豆。種皮色が鮮やかな緑で臍色と子葉色が緑。大粒。晩生、長葉、長茎で着莢位置が高い。倒伏が少ないが、疎植では枝が折れることがある。日光により種皮色があせるので、成熟後は速やかに収穫する。	中山間地（標播・晩播） 低暖地（標播・晩播）
信 濃 緑 〔福島県の 在来浸豆から 純系分離〕	昭61 長野中信農試	7.27	10.14	61	308	43.3	44.6	上 下	強	紫	褐	扁楕円	緑	黒	強	弱	平豆。種皮色と子葉色が緑で黒臍。大粒で浸豆に向く。中生、中茎で分枝が比較的閉じ、平豆としては草姿が優れる。べと病に弱いので常発地では晩播を避ける。黒根腐病に弱いので常発地では作付を避ける。	中山間地（標播・晩播） 低暖地（標播・晩播）
信 濃 鞍 掛 (改良型) 〔東山系V952 ／ 信濃鞍掛〕	平29 長野 野花試	8.2	10.21	69	333	39.9	42.5	上 下	強	紫	褐	緑地黒斑	黒	強	弱	弱	鞍掛の平豆。子葉色が緑。大粒で海苔香があり浸豆に向く。晩生、中茎で倒伏が少ない。青立ちしやすいので、過度の早播きや疎植を避ける。斑紋の大きさは登熟期間の気温により変動し、低暖地で早播きすると斑紋が小さく不鮮明になることがある。	中山間地（標播・晩播） 低暖地（標播・晩播）

※普及に移した年次：普及に移す農業技術として採用された年次。

※信濃鞍掛（改良型）の播種基準日は6月9日、平成26年～28年の平均値。

※耕種方法：播種基準日6月1日。栽植密度：畦幅75cm、株間16.7cm、1株1本立、800本/a。

※データは、平成14年～23年のうち異常気象等による生育不良年を除いた平均値。

4 小豆の部

農業試験場における成績

品 種 名 (来 歴)	編入年次奨励 及び認定品種 育成地	開 花 期 (月 日)	成 熟 期 (月 日)	稈 長 (cm)	分 枝 本 数	1 株 莢 数 (莢)	1 株 粒 数 (粒)	10 a 当 子 実 重 量 (kg)	百 粒 重 (g)	品 質	花 色	粒 色	臍 色	特性並びに栽培上の注意	適応地帯
中 納 言 〔在来中納言 より 系統淘汰〕	奨励 昭10 長野農試	8.21	10.21	83	6.2	32	192	103	14.6	上	黄	紅 赤	灰 白	晩生。大粒良質であるが、草丈高く、分枝数多く倒伏しやすいので多肥密植を避ける。 ウイルス病発生に注意する。	高冷地を除く県下全域

※耕種方法：播種日6月1日。

5 あわの部

野菜花き試験場（旧中信農業試験場）における成績

品 種 名 (来 歴)	編入年次奨励 及び認定品種 育成地	出 穂 期 (月 日)	稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	10 a 当 子 実 重 量 (kg)	千 粒 重 (g)	品 質	稈 糯 別	葉 色	耐 倒 伏 性	粒 の 整 否	粒 の 大 小	粒 色	特性並びに栽培上の注意	適応地帯
しなのつぶ姫 〔栗信濃1号 / 矮寧黄〕	奨励 平19 長野中信農試	8.20	88	18.6	414	2.2	上	粳	緑	強	整	やや 小	黄	栗信濃1号に比べて、早生、短稈で倒伏がほとんど無い。播種は晩霜の終わる時期から7月上旬（高冷地は6月中旬）とする。施肥は、窒素で4～5kg/10aを基準として、前作物により減ずる。	県下全域
あわ信濃2号 〔上村在来 から選抜〕	奨励 平7 長野南信農試	8.25	127	16.8	302	2.3	上	糯	緑 紫	やや 強	整	中	黄 白	中生の早。やや短稈で「栗信濃1号」より短く、耐倒伏性も「栗信濃1号」よりやや強い。粒着は密で脱粒は難、収量は「栗信濃1号」よりやや低い。	県下全域

※耕種方法：播種日6月16日。

※データは、平成16年～18年の平均値。

6 きびの部

野菜花き試験場（旧中信農業試験場）における成績

品 種 名 (来 歴)	編入年次奨励 及び認定品種 育成地	出 穂 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	穂 重 (g)	千 粒 重 (g)	品 質	稈 糯 別	葉 色	粒 の 整 否	粒 の 大 小	粒 色	特性並びに栽培上の注意	適応地帯
黍信濃1号 〔福島農試から 取り寄せ 系統淘汰〕	奨励 昭19 長野農試 桔梗ヶ原分場	8.17	9.27	139	38.7	12.8	5.0	上	糯	緑	整	中	黄	中生。中稈。倒伏が少なく良質である。やせ地にも適し、栽培しやすいが、早播き過ぎるとアワノメイガの害を受ける。肥料の吸肥力強く肥沃地で多収である。成熟すると脱粒し易いので注意する。	県下全域
きび信濃2号 〔天竜村在来 から選抜〕	奨励 平7 長野南信農試	8.6	9.12	103	39.3	11.5	5.0	上	糯	緑	整	やや大	黄白	早生・短稈。粒着密度、脱粒性は「黍信濃1号」と同程度。短稈だが耐倒伏性は「黍信濃1号」と同程度。収量は「黍信濃1号」より低い。	県下全域

※耕種方法：播種日6月14日。

※データは、平成16年～18年の平均値。

7 そばの部

野菜花き試験場（旧中信農業試験場）（標高 750m）における成績

品 種 名 (来 歴)	編入年次奨励 及び認定品種 育成地	生 態 型	播 種 期 (月 日)	開 花 期 (月 日)	開 最 盛 期 (月 日)	成 熟 期 (月 日)	草 丈 (cm)	第 1 次 分 枝 数 (本)	10a 当 子 実 重 (kg)	容 積 重 (g)	千 粒 重 (g)	品 質	花 色	果 皮 色	特性並びに栽培上の注意	適応地帯
しなの夏そば 〔 木島平在来 から集団選抜 〕	奨励 昭 54 長野農総試 中信用地方試	夏 型	5.15	6.16	6.26	7.18	93	2.8	226	592	31.1	中 上	白	黒	極早生、短稈の夏型品種。花の密度が高く、多収である。基本的には春まき（夏そば栽培）に用いる。鳥害をおよぼす小鳥（カワラヒワ等）の棲息地帯では、乳熟期以降の防鳥対策が必要である。夏まき（秋そば栽培）用にも使用でき、この場合、50 日程度で成熟する。	一部の高冷地を除く県下全域
			8.5	8.27	9.5	9.27	92	2.7	171	564	30.2	中 上	白	黒		
蕎麦信濃 1 号 〔 福島県の在来種 から系統選抜 〕	奨励 昭 19 長野農事試 桔梗ヶ原試験地	中 間 秋 型	8.5	8.29	9.11	10.12	113	3.1	181	586	30.4	中 上	白	黒 褐	中生・中稈の中間秋型品種。広域適応性が高い。夏まき（秋そば栽培）に用いる。初霜の被害を受ける前に成熟するよう播種期を設定する（生育日数 70 日前後）。	一部の高冷地を除く県下全域
信州大そば 〔 信濃 1 号の科尔 ヒチン処理固体 から選抜 〕	認定 平 2 信州大学	中 間 秋 型	8.5	8.31	9.16	10.26	118	3.3	147	514	45.0	中 上	白	黒 褐	四倍体の中間秋型品種。草丈が高く、分枝も多く、茎葉重が高い。個体当りの花房数が多く、千粒重も大きいため多収であるが、製粉歩留りがやや劣る。夏まき（秋そば栽培）に用いる。生育日数が 80 日前後と晩生のため、信濃 1 号の播種適期より 10～20 日前に播種する。	一部の高冷地を除く県下全域
開田早生 〔 開田在来から 集団選抜 〕	認定 平 14 長野中信農試	中 間 秋 型	8.5	8.29	9.9	10.9	108	3.0	199	611	30.1	中 上	白	黒 褐	奨励品種（信濃 1 号等）の栽培が不適な高冷地での夏まき（秋そば栽培）に適した中間秋型品種。開花・成熟期は、しなの夏そばと信濃 1 号の中間に位置する。木曾町開田高原（標高 1,000m～1,200m）における播種適期は 7 月 20 日前後である。	奨励品種（信濃 1 号等）の栽培が不適な高冷地帯（木曾町開田高原等）
タチアカネ 〔 白田町在来 から集団・個 体・系統選抜 〕	認定 平 21 長野中信農試	中 間 秋 型	8.5	8.29	9.10	10.12	111	2.8	193	611	32.0	中 上	白	黒 褐 (成 熟 時)	生態型、収量は信濃 1 号と同等の中間秋型品種。耐倒伏性に優れる。また、ゆで麺色の評価と千粒重、容積重が信濃 1 号より高い。乳熟期の果皮色が赤くなる個体が多く、9 月中旬～下旬頃目立つようになる。	一部の高冷地を除く県下全域
長野 S8 号 〔 関東 1 号 / 信濃 1 号 〕	認定 平 25 長野野菜花き試	中 間 秋 型	8.5	8.31	9.13	10.15	122	2.9	167	605	36.2	中 上	白	黒	丸抜きの緑色が濃く、そば切りの外観品質に優れる。生態型は中間秋型で、信濃 1 号と比べ生育期間は 3 日長い。大粒で容積重もやや重い。本葉がアルビノ(白化)となり枯死する個体が 1～3 %出現するが、収量等に影響ない。栽培は他品種と交雑を防ぐ体制をとることが可能な地域において、集団的に行う。	標高 1,200m を超える高標高地帯を除く県下全域

※耕種方法：播種量：5kg/10a、若しくは 150 粒/m²、栽培様式：畦幅 30 cm・条播、施肥量 (kg/10a)：N2.5、P₂O₅ 2.5、K₂O 2.0。

※データは、異常気象による生育不良年を除いた、平成 18 年～29 年（計州大そば栽培 18～27 年）の平均値

○奨励品種等の変遷

(1) 水稲

品 種 名	特 性	本県 育成	指 定 の 経 過	28年 指定
う る ち	栃木早生	◎	大5～昭30	
	無芒愛国		昭2～昭27	
	亀治		昭2～昭29	
	陸羽132号		昭3～昭32	
	伊那穂1号		昭11～昭33	
	農林6号	◎	昭14～昭31	
	信濃3号		昭15～昭36	
	農林17号		昭15～昭36	
	農林14号		昭15～昭27	
	中生無芒愛国		昭15～昭33	
	農林22号	◎	昭19～昭33	
	農林29号		昭23～昭34	
	尾花沢1号		昭25～昭33	
	農林1号		昭26～昭27	
	農林10号		昭26～昭34	
	信交206号	◎	昭26～昭36	
	新7号		昭27～昭33	
	アイマサリ		昭27～昭33	
	農林30号		昭27～昭29	
	しなのわせ		昭29～昭31	
テドリワセ	◎	昭29～昭30		
チクマ		昭29～昭37		
アキバエ		昭29～昭33		
藤坂5号		昭29～昭35		
アズサ		昭31～昭37		
若葉	◎	昭31～昭38		
金南風		昭31～昭39		
南栄		昭32～昭34		
ホウネンワセ		昭32～昭31 昭62～昭63		
ヤマビコ		昭33～昭45		
品 種 名	特 性	本県	指 定 の 経 過	28年

		育成		指定
う る ち (主食用米他)	ヨモヒカリ	◎	中生晩、偏穂数、やや多収、良食味	奨昭35～昭45 認昭46
	マンリョウ		晩生、偏穂数型、多収、良食味	奨昭36～昭45
	みやまわせ		極早生、短強稈、耐冷性強	奨昭37～昭45
	しなのひかり		中生、強稈、耐冷性弱	奨昭38～昭43
	ほたか		中生晩、偏穂数型、多収、良食味	奨昭39～昭54
	秋晴	◎	晩生、穂数型、良質、良食味	奨昭40～平4 認平5～23
	ヨネシロ		早生、強稈、穂重型、耐冷性強	認昭42～平元
	ほなみ		早生、偏穂数型、多収	奨昭43～昭45
	トドロキワセ		中生早、穂数型、耐冷性強、多収	奨昭44～平13 認平14～16
	ツクパニシキ		晩生早、偏穂数型、多収良質	奨昭46～昭52
	しなのこがね	◎	中生早、偏穂数、極良質、耐冷弱	奨昭47～平11 認平12
	アキヒカリ		早生、強稈、偏穂重型、良質多収	奨昭51～平3
	コシヒカリ		中生、中間型、良食味、耐冷性強	奨昭53～
	ヤマヒカリ		晩生、強稈、中間型、良質多収	奨昭53～平2 認平3
	ハマアサヒ		極早生、中間型、耐冷性強、良質	認昭55～平7
	ながのほまれ	◎	中生早、偏穂数型、良質、良食味	奨昭55～平12 認平13～16
	フクホナミ		中生晩、強稈、中間型、良質、良食味	奨昭55～平2 認平3
	さわほなみ		早生、偏穂数型、耐冷性強、良質	奨昭58～昭61 認昭62～昭63
	やえこがね		早生、中間型、耐冷性強、良食味	奨昭62～平6 認平7～10
	コイヒメ		早生、強稈、中間型、耐冷性強	奨平元～平8 認平9～12
キヌヒカリ	◎	中生、強稈、中間型、良質良食味	奨平3～27 認平28～	
いなひかり		晩生、強稈、中間型、良質、良食味	奨平5～平11 認平12	
ユメコガネ		極早生、偏穂重型、良質、耐冷性極強	奨平7～平10	
ハナエチゼン		早生、短稈、偏穂数型、多収、良食味、耐冷性強	奨平7～平12 認平13	
あきたこまち		早生、中間型、やや多収、良食味	認平8～平13 奨平14～	
ゆめしなの	◎	早生、中間型、良質、良食味、耐冷性強	奨平9～	
ひとめぼれ		中生早、偏穂数型、良食味、耐冷性強	認平9～平13 奨平14～	
きらりん		極早生、穂数型、良食味、耐冷性強～やや強	奨平11～	
天竜乙女		晩生、中稈 中間型 良質 良食味	認平21～	
ふくおこし(注)		中生、多収、多用途(米粉・醸造用他)	認平23～	
風さやか	◎	中生晩、中間型、短稈、良食味、多収	認平24～27 奨平28～	

注：新規需要米等

品 種 名		特 性	本県 育成	指 定 の 経 過	28 年 指定
もち	信濃糯1号	晩生、多収、良質、いもち病強	◎	昭6～昭25	
	東京糯	中生、品質中		昭6～昭34	
	大正糯	中生、良質、いもち病弱		昭6～昭27	
	福島糯	早生、長稈、耐冷性強、いもち病強		昭11～昭36	
	信濃糯3号	中生、穂重型、多収、良食味	◎	奨昭19～昭63 認平元	
	しなのはぶたえ	中生晩、穂重型、良質、良食味	◎	奨昭29～平元 認平2	
	ぜんこうじもち	中生、いもち病強	◎	昭31～昭36	
	みすずもち	中生、強稈、穂重型、良質、良食味	◎	奨昭38～平元 認平2～12	
	工藤糯	極早生、偏穂重型、耐冷性強		認昭38～昭51	
	とうげもち	早生、穂重型、耐冷性強、良食	◎	奨昭52～平2 認平3	
酒 米	みゆきもち	中生早、中間型、多収	◎	奨昭54～昭60	
	もちひかり	中生早、強稈、偏穂数型、良質	◎	奨昭60～	奨
	ながのもち	中生、強稈、偏穂数型、良質	◎	奨平元～平11 認平12	
	モチミノリ	晩生、強稈、中間型、多収、良質		奨平2～平11 認平12	
	カグヤモチ	早生、穂重型、耐冷性強、良質		奨平3～	奨
	モリモリモチ	晩生早、中間型、強稈、多収、白く良質	◎	奨平12～	奨
オラガモチ	早生、偏穂重型、耐倒伏性強、良質		奨平13～	奨	
酒 米	たかね錦	中生早、穂重型、大粒、心白良	◎	奨昭27～昭60	
	金紋錦	中生、穂数型、大粒、粒厚厚い	◎	認昭39～	認
	美山錦	中生早、穂重型、心白発現良	◎	奨昭53～	奨
	しらかば錦	早生、中間型、大粒、心白良	◎	認昭58～	認
	白妙錦	中生早、穂重型、心白発現極良	◎	認平4～平9	
	ひとごち	中生早、偏穂重、大粒、心白発現良	◎	奨平10～	奨
信交酒 545 号 (山恵錦)	中生早、心白発現良	◎	認平29～	認	
陸稲	胡桃早生 43 号	早生、短稈、耐干性強		奨昭10～昭63	
陸稲 もち	最上糯 1 号	早生、強稈、耐干性強、多収		奨昭10～昭46	
	ワラベハタモチ	早生、強稈、穂重型、耐干性強		認昭46～昭63	
参 考	ねばりごし	中生晩、アミロース含量6～7%、粘り強い	◎	平10～	
	しなの深紅	中生、紫黒糯、脱粒性難、良食味	◎	平10～	
	信交 507 号	中生、飼料イネ品種、耐倒伏性	◎	平17～	飼
	たかね紫	早生、紫黒糯、脱粒性難、良食味	◎	平19～	

(2) 麦

品 種 名	特 性	本県 育成	指 定 の 経 過	28年 指定	
小 麦	渋不知 伊賀筑後オレゴン ブレドリー 農林1号 農林15号		大5～昭14 大9～昭49 昭2～昭18 昭7～昭16 昭13～昭18		
	農林16号 信濃1号 農林27号 農林39号 農林66号	◎	昭14～昭18 昭14～昭18 奨昭16～平2 認平3～平13 昭18～昭39以前 昭19～昭29		
	農林68号 農林69号 農林67号 ユウヤケコムギ 農林70号		昭23～昭49 奨昭23～平2 昭25～昭39以前 昭27～昭39以前 昭27～昭39以前		
	ミクニコムギ ゼンコウジコムギ フクホコムギ シラネコムギ しゅんよう	◎ ◎ ◎ ◎	奨昭37～昭61 奨昭43～昭61 奨昭54～平2 認平3～平10 奨昭62～ 認平6～	奨 認	
	キヌヒメ ユメセイキ フウセツ ユメアサヒ ハナマンテン	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	奨平11～奨平17 認平13～ 認平14～ 認平16～平24 認平18～	認 認 認	
	ゆめかおり ゆめきらり	◎ ◎	認平22～ 認平25～	認 認	
	六 条 大 麦	大六角 五畝四石 備前早生 倍取105 虎の尾		大5～昭18 大5～昭29 大5～昭39以前 昭3～昭29以前 昭2～昭29以前	
		関取 雷電		大14～昭29以前 昭3～昭29以前	

品 種 名	特 性	本県 育成	指 定 の 経 過	28年 指定		
六 条 大 麦	白麦 信濃1号 会津4号 細麦 コウゲンムギ	◎	大15～昭39以前 昭16～昭39以前 昭23～昭39以前 昭16～昭39以前 昭27～昭43			
	みずず大麦 シナノハタムギ ミノリムギ リクゼンムギ サナダムギ	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	昭27～昭49 昭35～昭43 奨昭43～平12 認平13～15 昭49～昭53 奨昭49～平元 認平2			
	アサマムギ セツゲンモチ シュンライ ファイバースノウ 東山皮糯109号 (ホホワイトファイバー)	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	奨昭52～平5 認平6～10 奨平11～平15 認平16 奨平2～平27 認平28～ 奨平13～ 奨平28～	認 奨 奨 奨		
	一 条 大 麦		ゴールデンメロン ニューゴールデン アズマゴールデン		大5～昭2 認昭38～昭62 奨昭49～昭61	
	は だ か 麦		バンダイハダカ シロシンリキ		昭21～昭39以前 昭35～昭62	

(3) 大豆

品 種 名	特 性	本県 育成	指 定 の 経 過	28年 指定
赤茨	晩生、褐毛、中粒・臍色褐、耐干性強、晩播適応性大		奨昭3～昭43	
銀白	晩生、褐毛、大粒・臍色褐、純系分離品種	◎	奨昭3～昭43	
兄	中晩生、褐毛、中粒・臍色黒		奨昭6～昭35	
農林2号	中生の早、褐毛、中粒・臍色黒、晩播適応性大		奨不明～昭26	
しなのめじろ	中生、大粒	◎	奨昭34～昭38	
ハツカリ	中生の早、褐毛、中粒・臍色褐		奨昭34～昭46	
小倉大豆	晩生、極大粒、純系分離品種	◎	認昭35～平12	
ネマシラズ	晩生、中粒、ダイズシストセンチュウ抵抗性		奨昭37～昭53	
シロメユタカ	中晩生、中粒、多枝多莢で多収性	◎	奨昭36～昭53	
フジミジロ	中生、中粒、多枝多莢で機械収穫に適	◎	奨昭39～昭60	
ミスズダイズ	晩生、大粒	◎	奨昭43～平元 認平2～4	
エンレイ	早生、白毛、大粒、加工適性大(高蛋白質)、晩播適応性大	◎	奨昭46～平8 認平9～15	
ナカセンナリ	晩生、白毛、中粒、ダイズシストセンチュウ抵抗性	◎	奨昭53～平成6 認平7～	認
タチナガハ	中生、長葉、大粒、耐倒伏性、機械収穫に適、晩播適応性大	◎	奨昭61～平27	
ホウレイ	早生、中の大粒、耐倒伏性、ウイルス病抵抗性、晩播適応性大	◎	奨昭62～平2 認平3	
アヤヒカリ	中生、大粒、ウイルス病抵抗性、加工適性大(高蛋白質)	◎	奨平3～平8 認平9～12	
ギンレイ	晩生、大粒、耐倒伏性、ウイルス病抵抗性	◎	奨平7～	奨
ほうえん	早生、大粒、耐倒伏性、ウイルス病抵抗性、晩播適応性大	◎	奨平9～15	
すずこまち	早生、小粒、ウイルス病抵抗性、納豆加工適性大	◎	認平13～23	
つぶままれ	晩生、極大粒、ウイルス病抵抗性、加工用途広い、着莢高い	◎	認平15～	認
あやこがね	早生、大粒、耐倒伏性、ウイルス病抵抗性、加工用途広い	◎	認平16～	認
タチホマレ	中生、長葉、大粒、耐倒伏性、枯れ上がり良く、機械収穫に適	◎	認平18～23	
すずろまん	中生、小粒、ウイルス病抵抗性、納豆加工適性大	◎	認平19～	認
すずままれ	中生、長葉、大粒良質、耐倒伏性、豆腐加工適性大	◎	認平24～平27 奨平28～	奨

品 種 名	特 性	本県 育成	指 定 の 経 過	28年 指定
〈参考〉				
信濃黒	晩生、白花、褐毛、極大粒、種皮色黒(黒豆)	◎	昭53～	
信濃青豆	中生、褐毛、大粒、種皮及び子葉色緑(青豆)、純系分離品種	◎	昭56～	
信濃鞍掛	晩生、褐毛、大粒、扁楕円、種皮色緑地に黒斑・子葉色緑(浸豆)、純系分離品種	◎	昭56～	
信濃平豆	晩生、褐毛、大粒・扁楕円、種皮色黄緑(浸豆)、純系分離品種	◎	昭56～	
信濃早生黒	早生、白花、褐毛、大粒、種皮色黒(黒豆)、耐倒伏性	◎	昭59～	
信濃緑	中生、褐毛、大粒・扁楕円、種皮色及び子葉色緑(浸豆)	◎	昭61～	
玉大黒	早生、白花、褐毛、極大粒・種皮色黒(黒豆)・種皮にろう質有、ウイルス病抵抗性	◎	平9～	
あやみどり	晩生、長葉、白毛、大粒、種皮色・臍色及び子葉色緑(青豆)、ウイルス病抵抗性	◎	平20～	
華大黒	早生、白花、褐毛、極大粒・種皮色黒(黒豆)・種皮にろう質有、ウイルス病抵抗性、耐倒伏性	◎	平23～	

*28年指定欄は、平成28年度の奨励品種を「奨」、認定品種を「認」、飼料用米を「飼」と記載